

今後の瀬戸内海の水環境の在り方懇談会の進め方（案）

○第1回懇談会（9月3日（金）13:00-17:00）

テーマ：瀬戸内海の概要

1. 各講師からの発表（30分×3名）
 - ①水環境（水質、潮流、海岸）：九州大学教授 柳哲雄
 - ②海域における栄養塩の適正管理：京都大学大学院教授 藤原建紀
 - ③瀬戸内海の水産業：瀬戸内海水産研究所室長 樽谷賢治
2. 意見交換（60分）

○第2回懇談会（11月1日 東京国際フォーラム G502会議室）

テーマ：自然・社会科学分野からみた瀬戸内海の現状と今後について

1. 各講師からの発表
 - ④歴史と文化（人々の暮らしとの関わり：民俗）、⑤自然・生態系（植物、魚類、鳥類）、⑥瀬戸内海の国際的価値（観光資源）、⑦行政の取組（公害克服の取組）、⑧事業者の取組（排水処理、瀬戸内保全への取組）、⑨自然再生（藻場・干潟）等
2. 意見交換

○第3回懇談会（12月3日 東京国際フォーラム G502会議室）

テーマ：環境保全の活動の状況や現場からの課題提起等について

1. 各講師からの発表
 - ⑩漁業者の取組、⑪地域活動・住民参加（NPO）活動、⑫瀬戸内海環境保全特別措置法の効果、⑬瀬戸内海の水環境保全に向けた地区組織活動、⑭人間と海との共生（陸域と沿岸域の一体性、パブリックアクセス、地域計画）、⑮総合沿岸域管理（海洋ごみ問題を含む）等
2. 意見交換

○第4回懇談会（1月14日 東京 開催場所未定）

1. 各講師からの発表（予備日）
2. 今後の瀬戸内海の水環境の在り方に関する論点整理（素案）の説明
3. 意見交換

○第5回懇談会（2月7日 東京 開催場所未定）

1. 今後の瀬戸内海の水環境の在り方に関する論点整理（案）の説明
2. 意見交換

（注）日程調整等により、講師からの発表内容等に変更が生じる可能性がある。